

今年の家計状態は「悪かった」が5割。来年の予想でも物価上昇が影響し「悪くなる」が4割で過去最大に

◆今年の「自分の家計状態」は、「良かった」が11.0%(前回12.1%)、「悪かった」が48.4%(前回41.9%)と、前回から悪化しました。「悪かった」のスコアは性別では女性(50.3%)、年代別では40代以上で半数を超えています。

◆来年の「自分の活計状態」は、「良くなる」が11.5%で、前回(13.0%)より-1.5ptとなり、やや減少しました。また、「悪くなる」については40.3%で、前回(32.5%)より増加しており、2015年の調査開始以降の過去最大値となっています。

年代別で見ると年代が上がるにつれ「悪くなる」のスコアが高くなっています(20代:28.8%→30代:37.1%→40代:40.8%→50代:44.6%→60代:46.9%)。

◆来年の家計予想の理由(自由回答)を集計したところ、「悪くなる」と思う理由は「物価上昇による出費増加」(49.3%)、「収入の減少」(31.9%)、「良くなる」と思う理由では「収入の増加」(29.5%)、「就職や転職などによる改善」(21.3%)がそれぞれ上位となっています。収入増の期待はあるものの、現実には「収入は据え置きのまま、物価だけが上がる」といった嘆きの声が多くみられます。

2026年世の中の変化予想

今年の変化実感「多かった」と来年の変化予想「多くなる」はいずれも4割で、増加に転ずる

◆今年の「世の中の変化」実感は、「多かった」が38.8%で前回(31.4%)より+7.4ptと前年までの減少傾向から転じて増加しています。また、「どちらともいえない」は48.1%で、前回(55.9%)から減少(-7.8%)し、「少なかった」は13.1%で、前回(12.7%)から微増しました。性別で見ると特に女性では、「多かった」が42.3%と、男性の35.4%より+6.9ptと高いスコアになっています。年代別で見ると50代以上(50代:43.1%、60代:47.3%)で「多かった」が高いスコアとなりました。

◆来年の「世の中の変化」予想は、「多くなる」が38.8%と前回(32.5%)から+6.3ptと増加し前年までの減少傾向から転じて増加となっています。年代別で見ると50台以上(50代:41.5%、60代:47.1%)で「多くなる」のスコアが4割を超えました。

◆来年「多くなる」と予想する変化(自由回答)をみると、「物価上昇の継続・加速」(32.1%)や「異常気象や災害の増加」(10.2%)など、ここ数年で加速した変化がさらに進むことを予測する声や、「外国人の増加」(8.7%)など、今年話題に上ることの多かった事柄が上位となりました。

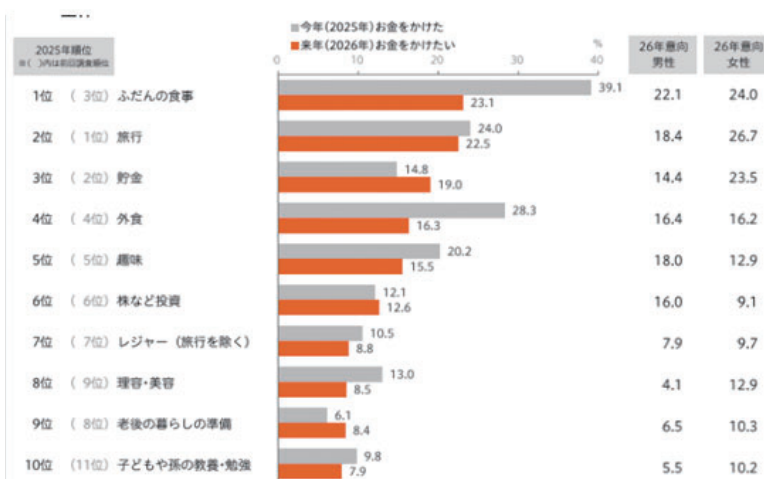
2026年にお金をかけたいこと

1位「ふだんの食事」で、前回3位から浮上2位「旅行」、3位「貯金」

◆「来年お金をかけたいものの上位は、「ふだんの食事」(23.1%)「旅行」(22.5%)、「貯金」(19.0%)で、前回3位だった「ふだんの食事」が1位に浮上しました。

◆1位の「ふだんの食事」は来年の意向が23.1%に対し、「今年お金をかけた」が39.1%で、来年の方が-16.0ptと下回っています。来年も食という身近な分野で支出を抑制しながら、工夫して楽しんでもいきたいという、生活者の両方の気分がうかがえます。

◆3位「貯金」は「今年お金をかけた」を上回り、その差分は+4.2ptです。ほかにも、9位「老後の暮らしの準備」で+2.3pt今年より来年が高く、長期的なお金の使い方や将来への備えに目を向ける姿勢も感じられます。



博報堂生活総合研究所2026年11月27ニュースリリース“2025年生活気分”より

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。このたび、担当者が変更となりました、未熟ではございますが精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。(M.I)

Vol.557

発行日/毎月1回1日発行
/2026年1月1日通常 第557号
発行所/富士コーヒー株式会社・営業販促課
HP/http://www.fujicoffee.co.jp
名古屋市中川区舟戸町6-18
TEL (052) 362-1161 FAX (052) 362-1801
ホームページ/ https://www.fujicoffee.co.jp/

JANUARY
2026
1月号
Vol.557

FUJI
COFFEE NEWS



グアテマラ コーヒーの精選(左) アフリカンベッド(中央・右)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1大安 元旦	2赤口	3先勝
4友引	5先負	6仏滅	7大安	8赤口	9先勝	10友引
11先負	12仏滅 成人の日	13大安	14赤口	15先勝	16友引	17先負
18仏滅	19赤口	20先勝	21友引	22先負	23仏滅	24大安
25赤口	26先勝	27友引	28先負	29仏滅	30大安	31赤口
年末年始休業日 12/30～1/4						

シリーズ
SERIES

MONTHLY COFFEE INFORMATION



República de Guatemala

マンスリーコーヒーインフォメーション vol.226

～ヴィデス・グラナダ～

Huehuetenangoはグアテマラ北西部に位置し、グアテマラの中でも特に高い標高を有しております。

肥沃な火山灰土と豊富な水源、高地による寒暖差が合わさり、非常に豊かな風味を持ったコーヒーが生産されます。

Vides農園はVides58というHuehuetenangoに拠点を置く輸出業者が運営しており、代々ビデス家が経営しております。

同社は生産者、輸入業者、焙煎業者が長期的な関係から恩恵を受ける透明性とトレーサビリティを重視しております。

カップはトロピカルフルーツやストロベリーを思わせるフルーティーな酸味と、しっかりとしたボディ感を併せ持っております。

【焙煎度合】
■■■■■□□□
(シティロースト 中深煎り)

今日のコーヒー、味の特徴は？

- ・滑らかで軽やかな飲み心地
- ・ココナッツ、メロン、アスリコット、ストーンフルーツ

が特徴のコーヒーです。

《グアテマラ～ヴィデス・グラナダ～概要》

地域: Huehuetenango地区
標高: 1,800m
乾燥: 天日乾燥、アフリカンベッド等
規格: SHB
品種: カトゥーラ、スルボン、カツアイ 他



新年のご挨拶

富士コーヒー株式会社 代表取締役社長 塩澤彰規



代表取締役社長
塩澤彰規

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご厚情とご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2025年は、物価上昇の継続や国際情勢の不安定さにより、私たちを取り巻く経済環境は依然として先行きが見通しにくい一年でございました。

その一方で、外食市場の回復や消費者ニーズの多様化、そしてDXの加速など、業界全体が大きく変化する転換期でもありました。

そのような環境下において、富士コーヒー株式会社は「人と人をつなぐコーヒー文化を広げる」という理念を軸に、お客様にとって価値あるサービスとは何かを追求し続けてまいりました。

仕入・焙煎技術・物流・情報提供のいずれにおいても、品質の向上とスピードの両立を図り、皆様の事業に役立つ提案を行える企業でありたいと努めております。

迎える2026年は、人手不足やコスト上昇など引き続き厳しい課題が見込まれます。

しかしながら、こうした時代だからこそ私たちは“本物のコーヒーの価値”を改めて見つめ直し、お客様と共に成長していく取り組みを一層強化してまいります。

本年は特に、

- ・安定した品質と供給体制のさらなる確立
- ・店舗運営に役立つ最新情報の提供
- ・持続可能な経営に向けた取り組みの強化
- ・お客様とのパートナーシップの深化

を重点に、社員一丸となって精進してまいる所存です。

「富士コーヒーと取引していて本当によかった」

そう感じていただける企業であり続けるために、本年も誠心誠意努めてまいりますので、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝と益々のご発展を心より祈念いたしまして、

新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

富士コーヒー株式会社
外食事業部部長 川口 万年

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

昨今の人件費や原材料費の高騰など、厳しい経営環境が続いておりますが、本年も皆様方に価値ある商品をご提供できるよう、富士コーヒー社員一同、より一層の品質向上と効率化に努めてまいります。

また、今まで以上の迅速かつ的確な情報提供、そして常に丁寧で誠実なご対応をさせていただき、皆様方との協力体制をさらに強固なものとし、より良いサービス提供に努めてまいります。

引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



生活者に聞いた“2026年生活気分”



●来年の景気予想「悪くなる」は45.2%で、過去11年の最大値

★来年の景気予想は、「悪くなる」が45.2%で、前回の37.7%から増加

★来年の景気が「悪くなる」と思う理由は、「物価上昇の継続・加速」が最多

●来年お金をかけたいものの1位は「ふだんの食事」で、前回3位から浮上

★「来年お金をかけたいもの」の1位「ふだんの食事」(23.1%)、2位「旅行」(22.5%)、3位「貯金」(19.0%)

★「来年お金をかけたい」が「今年お金をかけた」の数値を最も大きく上回ったのは「貯金」で+4.2pt増

博報堂生活総合研究所は、翌年の景況感などについて全国の20~69歳男女3900人に予想してもらい“2026年生活気分”としてまとめました。

今回の結果では、前回に続き来年の景気が「悪くなる」は増加し、「良くなる」はやや減少しました。

また、「来年お金をかけたいもの」として「ふだんの食事」が1位になっていますが、「今年お金をかけたもの」のスコアと比較すると-16.0ptとなっており、食品をはじめとした物価高騰の影響を受けつつも、その中で楽しみを見出そうとする生活者の姿勢がうかがえます。その一方で、来年は家計をより冷静に見直し、貯金など将来への備えに目を向ける側面も強まりそうです。

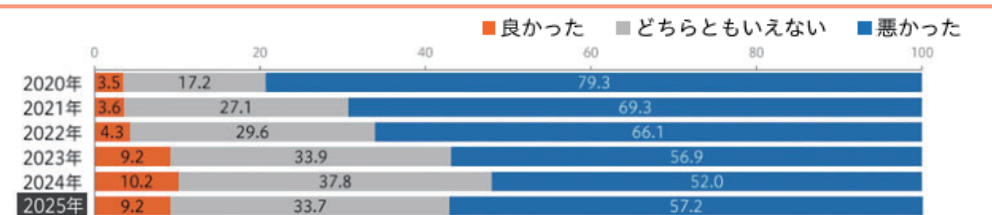
2026年の景況感 来年の景気予想は「悪くなる」が増加、上の年代ほど「悪くなる」が高くなる傾向

◆今年の「世の中の景気」実感は、「悪かった」が57.2%と、前回調査(52.0%)より+5.2ptとなり、前回までの減少傾向から転じて増加。性別で見ると、特に女性では「悪かった」が63.4%と、男性の50.9%に比べて、10pt以上高いスコアとなっています。

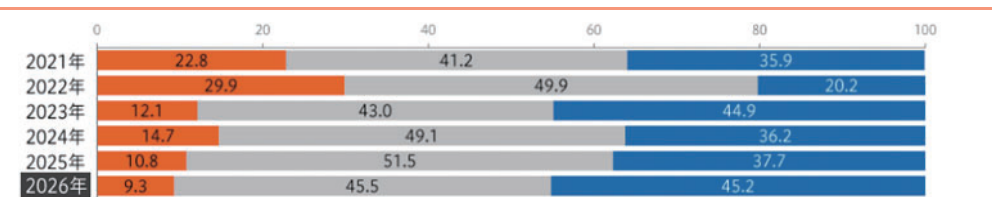
◆来年の「世の中の景気」予想は、「悪くなる」が45.2%で、前回(37.7%)より+7.5ptと増加し、2015年の調査開始以降の過去最大値となりました。また「良くなる」(9.3%)は前回(10.8%)より-1.5ptとやや減少し、「変わらない」(45.5%)は前回(51.5%)より-6.0pt現象しています。

年代別で見ると年代が上がるにつれて「悪くなる」のスコアが高くなっています。(20代:37.4%→40代:46.6%→60代:49.5%)

今年(2025年)の「世の中の景気」実感



来年(2026年)の「世の中の景気」予想



◆世の中の景気予想の理由(自由回答)を集計したところ、「悪くなる」と思う理由では「物価上昇の継続・加速」(55.0%)、「収入の減少」(14.1%)、「良くなる」と思う理由では「希望的観測」(23.5%)、「新政権・新政策」(14.4%)となりました。いずれのトップも女性を中心に高いスコアとなっており、前回に続き景気の好転に期待する一方、物価の上昇がそれ以上に重くのしかかり、来年の景気を悲観的に考える生活者が多いようです。

良くなると思う理由		全体	男性	女性
1位	希望的観測	23.5	17.5	33.8
2位	新政権・新政策	14.4	14.4	14.3
3位	株・投資・為替	10.2	12.2	6.8
4位	消費・経済活性化	9.9	9.6	10.5
5位	収入が増える・副業をする	9.1	8.3	10.5

悪くなると思う理由		全体	男性	女性
1位	物価上昇の継続・加速	55.0	45.5	52.2
2位	収入の減少	14.1	11.9	16.1
3位	政治不信	13.5	16.3	11.0
4位	景気低迷の継続	12.6	12.6	12.6
5位	国際情勢不安	5.7	8.3	3.4